

VIII. 運転者等に対する指導教育（方法と実務）

運転者及び整備要員に対し十分な指導監督を行うためには、整備管理者自らが、安全の確保についての職務の重要性をよく認識し、事業場で定められている整備管理規程、使用管理上の基準や最新技術の習得に努めて、実務や知識を熟知していなければなりません。

さらには「日常点検はなぜ必要なのか」、「日常点検と定期点検の項目が違うのはどうしてなのか」、また「オイルの消費量が多くなるのはなぜか」、「適正なタイヤ空気圧とは何か」等々を常に考え、確かめる力を養っておく必要があります。

また、近年の経済状況では自動車の使用年数が延長傾向にあることから、自動車の使用実態を把握し、自動車の構造・装置の状態変化を見据えた点検・整備を実施して常に良好な状態を維持することが必要です。

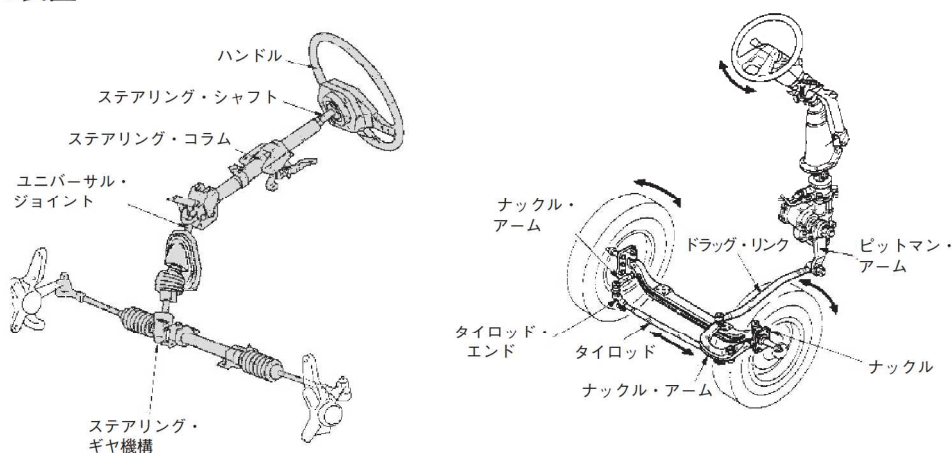
運転者及び整備要員に対して、全般的な指導教育を実施するとともに、1人1人についても適切なアドバイスを与えるなど安全の確保と環境の保全の必要性を正しく理解させて、運転者及び整備要員が自覚を持って業務に精励できるよう、科学的根拠に基づき教育することが重要です。

教育事項としては次のような事項があります。

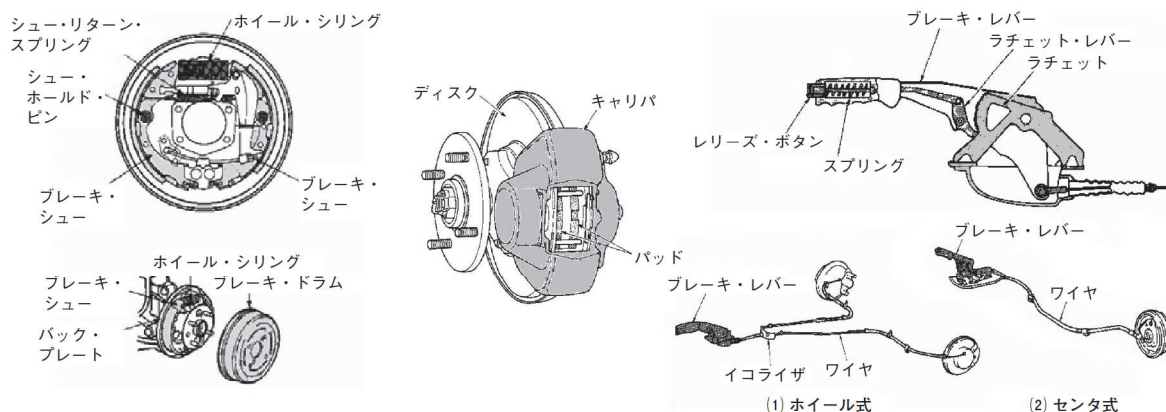
1. 自動車の構造・装置

(主な構造装置)

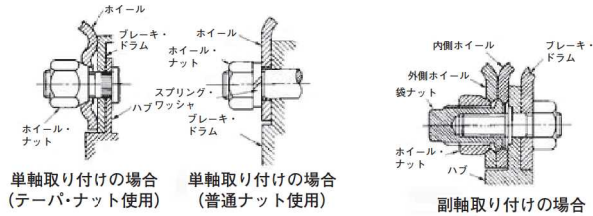
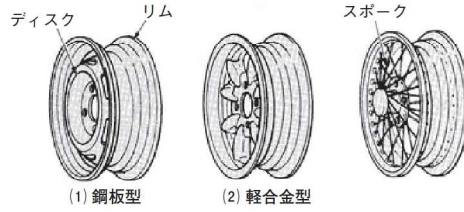
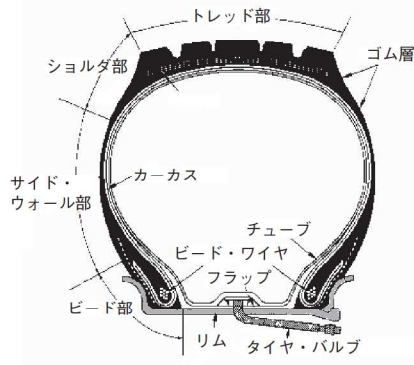
・かじ取り装置



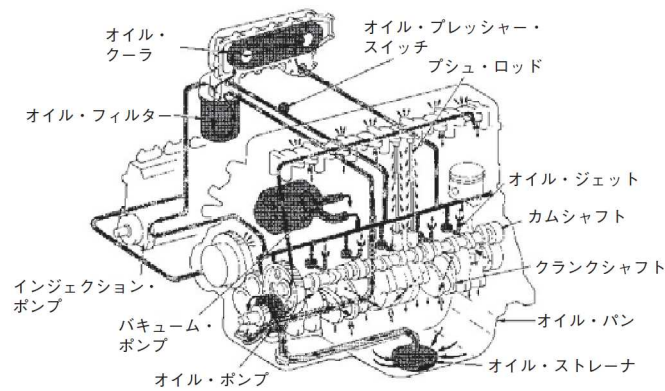
・制動装置



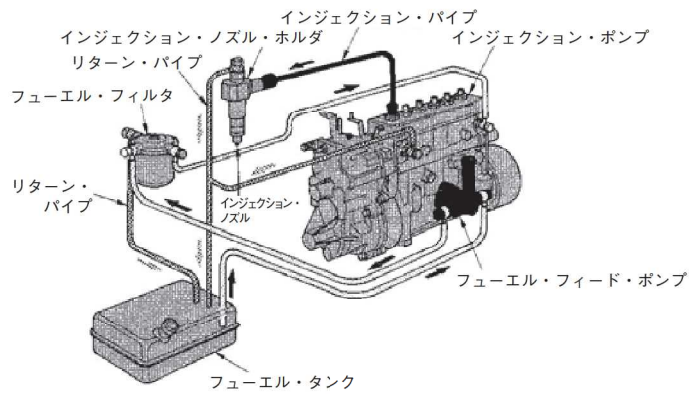
・走行装置



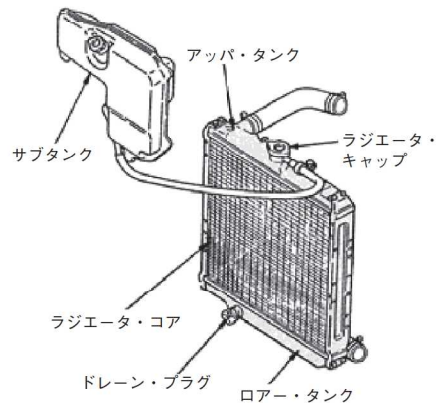
・原動機



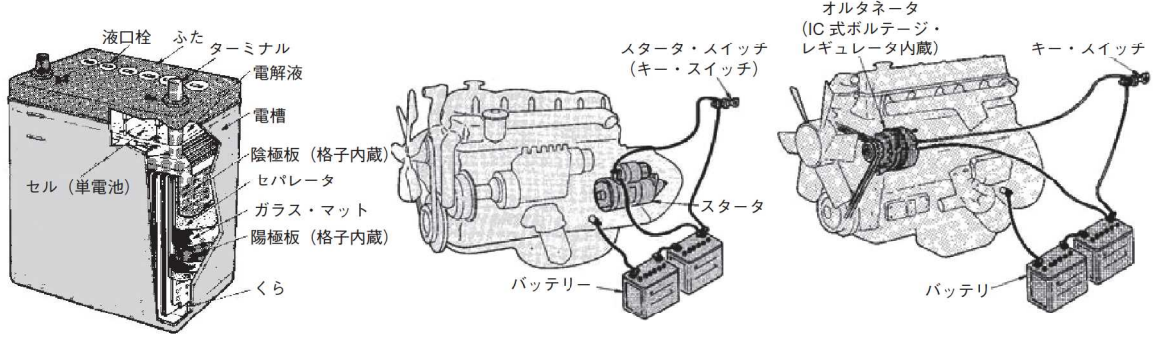
・燃料系統



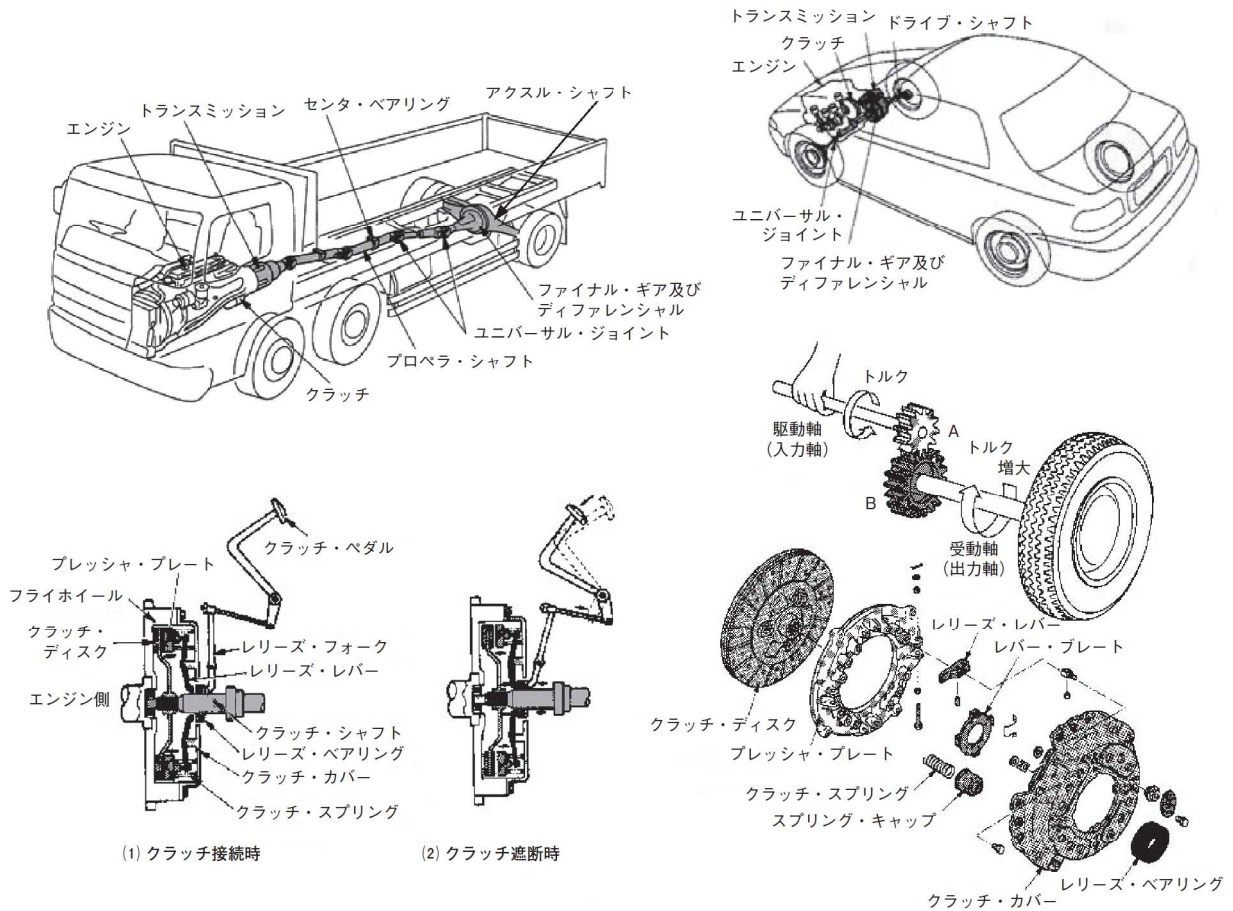
・冷却系統



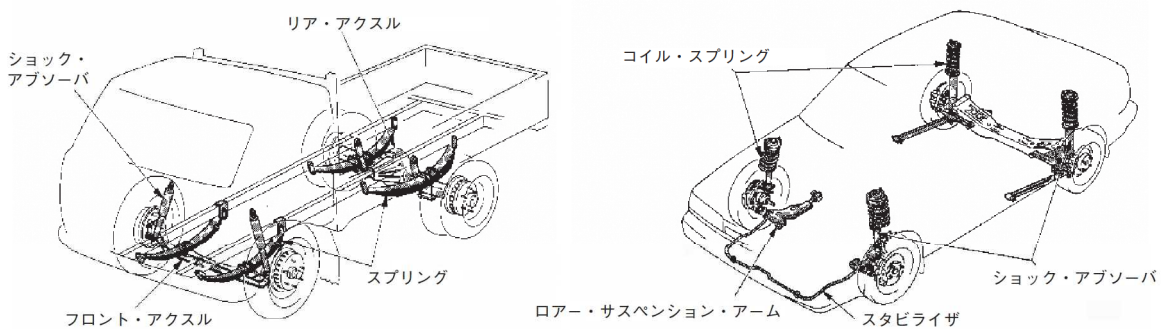
・電気装置



・動力伝達装置



・緩衝装置



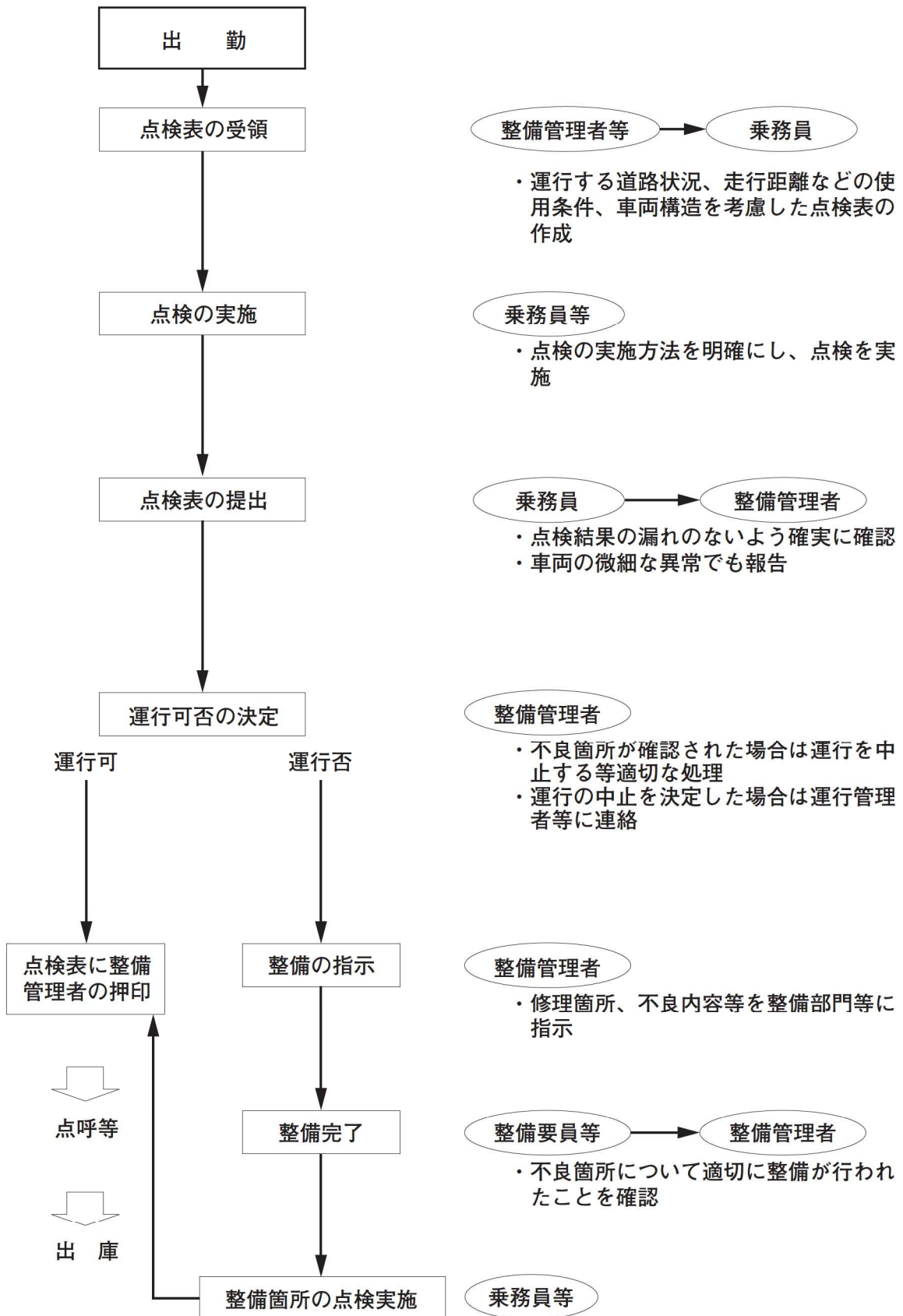
・その他

- ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- 警音器、窓ふき器、洗浄噴射装置、デフロスタ及び施錠装置
- エキゾースト・パイプ及びマフラ
- エア・コンプレッサ
- 高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- 車体及び車枠
- 連結装置
- 座席
- 開扉発車防止装置

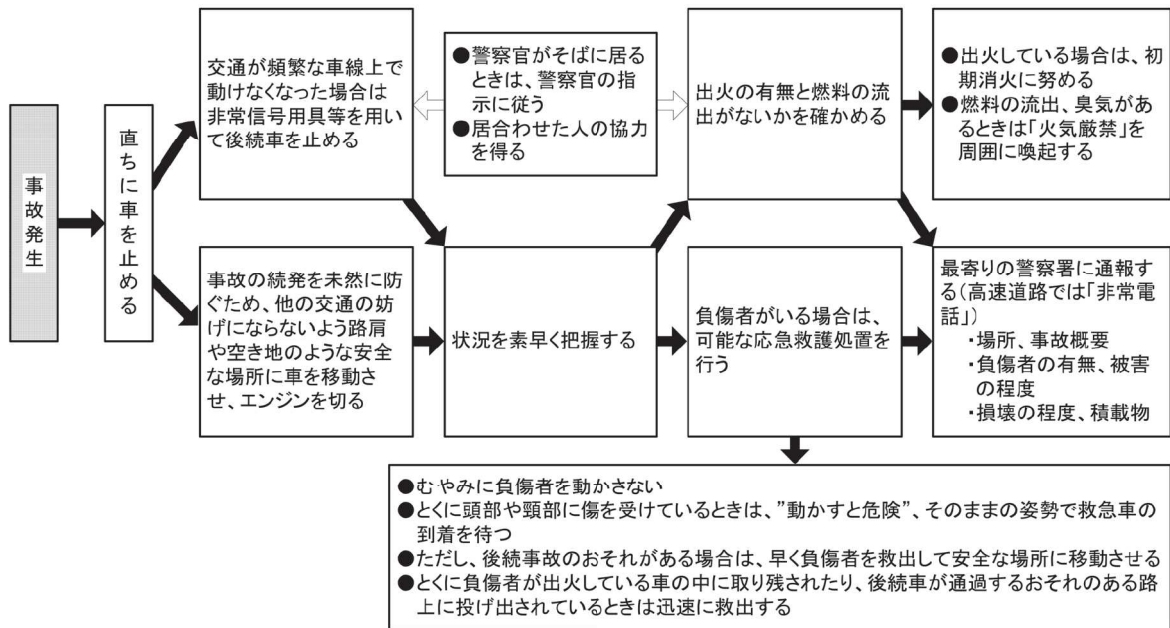
2. 日常点検の方法

- (1) 運転者等に日常点検の必要性を説明する
 - ・道路運送車両法において実施の義務づけ
 - ・1日の運転を行うために車両の状態に異常がないかを確認
 - ・走行時のトラブルを未然に回避
- (2) 日常点検をスムーズに実施するための留意点を説明する
 - ・平坦な場所での実施
 - ・タイヤに輪止めをかける等
- (3) 効率の良い方法を運転者等に指導する
 - ・日常点検の実施手順の策定
 - ・日常点検表やチェックシートを運転者等に渡す等

日常点検の流れ



3. 車両故障や事故時の処置方法



出典:「貨物自動車の安全運転実技教本」(陸上貨物運送事業労働災害防止協会)

4. 関係諸法令・通達及び関係規程

- ・道路運送車両法、道路運送車両法施行規則、道路運送法、貨物自動車運送事業法、道路交通法等の諸規程
- ・関係社内規程